

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)僧院新築工事	階数	地上6F
建設地	兵庫県加東市畑字荷籠谷640番42	構造	S造
用途地域	都市計画区域外、防火地域指定なし	平均居住人員	555 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,300 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年6月 予定	評価の実施日	2021年10月20日
敷地面積	3,189 m ²	作成者	大屋 修
建築面積	1,180 m ²	確認日	2021年10月20日
延床面積	5,787 m ²	確認者	大屋 修



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
 ②建築物の取組み 76%
 ③上記②以外の 76%
 ④上記+ 76%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>・中央の管理浴室棟を中心に左右に宿泊会議施設を配置した明快でわかり易い、安全な動線計画とした。外観は緑豊かな自然公園と調和する緑青色の屋根を配置し外壁には御影石を採用、自然のテクスチャーを積極的にとり入れた人や周辺環境に優しい計画とした。</p>		<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>・居室には開放的な窓を設け自然採光・換気を確保し、照明・空調負荷の低減に配慮した。また、床材には木質のフローリングを採用、人に優しい室内環境に配慮した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>・空調及び換気設備は個別系統としている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>外壁には自然石(御影石)などを積極的に採用、屋根は勾配屋根とし、緑豊かな周辺の環境に調和した外観を創出。また、敷地の約44%を緑化し、生物環境の保全と創出に配慮した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>主要な窓ガラスに省エネルギー性の高い複層ガラスを採用。照明効率の高い器具の採用。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水: 自動水栓、小便器自動洗浄、大便器節水型を採用。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される